令和７年度　学 校 自 己 評 価 シ ス テ ム シ ー ト　（県立朝霞高等学校　全日制課程）

目指す学校像	より高い学力を身につけた心豊かで社会性のある生徒を育成し、進路希望実現と自立に導く。

達成度	A	ほぼ達成	（８割以上）
	B	概ね達成	（６割以上）
	C	変化の兆し	（４割以上）
	D	不 十 分	（４割未満）

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

重 点 目 標	1　現行学習指導要領を踏まえた授業改善を行い、生徒の学力を向上させる。 2　生徒に授業・家庭学習及び進路学習に積極的に取り組ませ、希望する進路を実現させる。 3「コミュニケーション能力」と「物事に主体的に取り組み、考える力」を向上させる。 4　保護者・中学生とその保護者・地域に向けて積極的に学校の教育活動を情報発信する。

出席者	学校関係者	名
	生　徒	名
	事務局（教職員）	名

※ 重点目標は３つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学　校　自　己　評　価								学　校　関　係　者　評　価
年　度　目　標					年　度　評　価（　R　年　月　日 現在　）			実施日　R7年　2月　7日
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	□現状　現教育課程が４年目に入り、各教科を中心に主体的・協働的な学習が定着して、また、各年次を中心に「総合的な探究の時間」の充実が進行している。 ICT の活用、ﾀﾌﾞﾚｯﾄを使用した授業が拡大している。 □課題　校舎大規模改修の下で、支障ない教育活動。ICT をはじめ、施設環境の改善、人的保障。	・校舎大規模改修対応 ・現教育課程を踏まえ、主体的・協働的な学習・授業、学習評価等の改善についての、共通理解の促進と具体化推進。 ・ﾀﾌﾞﾚｯﾄ等、ICT の授業への効果的活用。	・校舎大規模改修対応と、年間計画の適切な調整を実施。 ・機材の充実、家庭環境等に配慮しながら、ﾀﾌﾞﾚｯﾄ等ICTの効果的な学習への活用を拡大させる。 ・そのための課題や、学習評価等の情報共有を教職員間で進め、共通理解を生徒・保護者にも着実に形成し広めていく。	・授業アンケート等から、授業外学習時間状況、授業改善の取り組みへの意見などを集約し評価する。 ・現教育課程、ICT活用、授業改善の取り組み、学習評価等の共通理解が図れたか。				
2	□現状　ほとんどの生徒が進路希望実現への意欲は高いものの、授業外学習などの取り組みが遅れ気味である。 □課題　早い段階からのきめ細かい進路指導と、一般入試を追求する生徒を育てること。希望実現に強い意志を持つ生徒を支援する、体制の維持拡充。 現教育課程下で２年目となる入試への適切な対応と指導。	・進路情報の収集と、適切・的確な進路計画の推進。 ・早い段階からのきめ細かい進路指導と、主体的に進路を考える生徒の増加。 ・進路実現に向けた補習の充実。	・生徒の希望および生徒の家庭状況に配慮しながら、学校内外の各種進路行事を適切に推進して、進路意識の向上を図る。その上で、総合型選抜入試等の有効活用、および一般入試を追求する生徒増を目指して、生徒の主体的な行動を促す。 ・生徒の進路意識を醸成させ、授業外学習を促進するとともに、校舎大規模改修との調整を図りながら補習授業を充実させる。 ・現教育課程下の入試等、進路希望実現に資する進路情報収集と進路資料充実を図る。	・生徒の希望に沿った適切な進路指導と進路意識の向上、および授業外学習の定着が図れたか。 ・アンケートや生徒の学習計画表などから評価する。 ・補習の開講・参加状況から評価する。				
3	□現状　基本的な生活習慣、学習への姿勢は概ね良好である。校則、校内外の礼儀作法など、身近なことを自らの問題として考える取り組みが継続している。 □課題　SNS 等との向き合い方が未熟な生徒が少なくない。それを踏まえて、生徒間および大人も含めた円滑な人間関係促進の取り組みを進めること。	・体育祭･文化祭・修学旅行等の学校行事および、部活動等の適切な実施、両立。 ・行事･部活動等を通じてコミュニケーションの促進、考える力の育成、心のケア実施。	・行事やHR活動、部活動を通じたコミュニケーションをさらに進める。 ・学校生活のあらゆる場面で規範意識を育てる。特にSNS等、ネットに関するトラブル防止などをはじめとして、心のケアに留意した教育活動をすべての場面で進める。 ・整容指導、時間管理、所持品管理、挨拶などの指導を、地道に取組み続ける。 ・生徒総会、「未来を語る会」の運営・学校評価懇話会への参加を通して、全校生徒が身近な校内課題を自分たちの問題として捉え、意見を集約し学校生活の向上に役立てる。	・安全に配慮しつつ、学校行事、部活動を運営し、コミュニケーションが進められたか。 ・ネットトラブルを防止でき、かつ生徒による取り組みが進んだか。 ・以上について、アンケートや年次会、分掌会等を中心とした情報共有の状況から評価する。				
4	□現状　保護者、中学生、地域への情報発信は、ICT も活用して積極的に行っている。学校見学会等も確実に実施し、入試志願者数は引き続き増加傾向にある。 □課題　入試志願者数への対策。保護者との相互理解の深化。 保護者・教職員が関心、意欲を高められるPTA活動の実施。	・学校説明会･見学会等を通じて、中学生、保護者、地域の本校理解の促進。 ・保護者・教職員のPTA活動への関心向上と参加の工夫。	・中学校・塾への学校説明、入試説明などを幅広く丁寧に行い参加者を増やす。引き続きICTも活用して、情報発信を積極的に行う。特に、よく利用されているホームページのさらなる内容充実を図る。 ・PTA役員や保護者の活動の経済的・時間的負担軽減を工夫する。PTA活動について職員で情報を共有する。 ・アンケート等、関係者からの情報・意見等の集約方法等の工夫・改善を図る。	・学校説明会･見学会等への参加者数。 ・生徒・保護者、外部の意見等を把握し、ニーズへの適切な対応と支援ができたか。 ・以上についてアンケート、諸会議の協議を通じて評価する。				